

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



トップページ



IRページ

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局] TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

株式会社 **ADEKA**

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

151th

第151期 決算のご報告

2012年4月1日~2013年3月31日

CONTENTS

連結財務ハイライト

株主の皆様へ

報告セグメント別概況

中期経営計画「STEP 3000」の進捗

連結財務諸表

個別財務諸表

株式の状況

会社の概要

ネットワーク

BUSINESS REPORT



株式会社 **ADEKA**
(証券コード 4401)

マレーシア クアラルンプール ペトロナスツインタワー
当社グループの食品事業強化を目的として、マレーシア
ジョホール州にADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.を
設立しました。

連結財務ハイライト



株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第151期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
郡 昭夫



世界経済は、米国では緩やかな回復傾向が続いたものの、欧州債務問題の長期化や中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化などにより、全体的には停滞局面が続きました。国内では経済対策効果や復興需要の下支えなどにより、緩やかな回復は見られたものの、世界経済の減速の波及懸念などを背景に引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは2012年度からスタートした中期経営計画「STEP 3000」に基づき、事業の選択と集中を進めるべく、鹿島共同出資3社(鹿島電解(株)、鹿島塩ビモノマー(株)、鹿島ケミカル(株))から出資を引き揚げ、電解事業から撤退いたしました。また、化学品事業では、米国子会社による塩化ビニル用安定剤事業の買収、ブラジル現地法人の設立、食品事業ではマレーシアで加工油脂を製造販売する合弁会社を設立して工場建設に着手するなど、将来の成長に向けた海外投資を戦略的に推し進めてまいりました。研究開発部門では、樹脂添加剤グローバルテクニカルセンターの役割を担う新研究棟を完成させ、市場競争力のある製品などを迅速に研究開発できる体制を構築しました。

当期の連結業績につきましては、売上高は1,848億85百万円(前

期比8.2%増)、営業利益は98億55百万円(同18.1%増)、経常利益は113億24百万円(同31.2%増)、当期純利益は76億16百万円(同100.6%増)と前期を大きく上回りました。

年間配当金につきましては、当初予定どおりの1株につき22円(中間配当金11円、期末配当金11円)とさせていただきます。

2013年度は中期経営計画(2012年度から2014年度の3ヶ年計画)の2年目の年であり、創立100周年にあたる2016年度のありたい姿として策定した中長期的な経営ビジョン「売上高3,000億円のグッドカンパニー」を達成するための重要な年と位置づけ、これまでの成長戦略を結実させ、さらなる成長への基盤を構築してまいります。そのためにも、中期経営計画の5つの方針である「海外」「技術」「価値創造」「投資」「人材」を柱に、事業領域の拡大・強化に向け取り組みを進めることにより、2013年度の通期業績予想の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

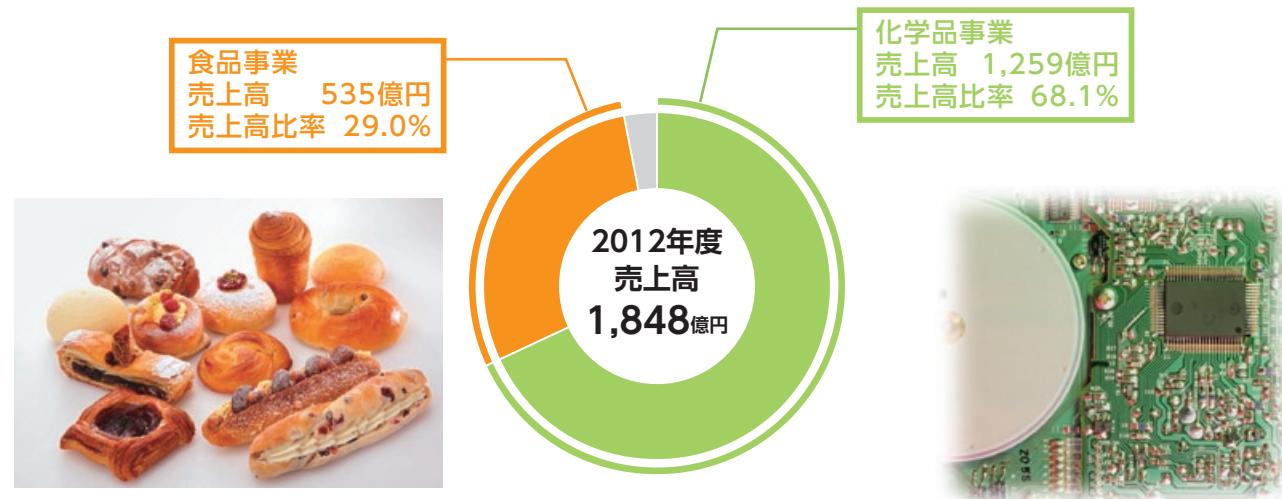
2013年6月

●2013年度通期見通し

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期見通し	2,000億円	125億円	128億円	86億円
前期比増減率	8.2%増	26.8%増	13.0%増	12.9%増

報告セグメント別概況

●セグメント別売上高



●主要製品

事業	主要製品
化学品事業	
情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光記録材料、画像材料、その他
機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品材料、その他
基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、か性ソーダ、珪酸ソーダ、その他
食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他



当事業の売上高は、1,259億11百万円(前期比7.5%増)、営業利益は73億73百万円(同4.5%減)となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料を中心に販売数量は高い水準で推移しましたが、価格競争の影響を受け販売価格が低下しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料、タッチパネル向けの電子回路基板エッチング薬剤など競争力の高い独自製品が伸長しました。フラットパネルディスプレイ向けの各種材料は、スマートフォンやタブレット端末の販売拡大を受け、堅調に推移しました。情報・電子化学品全体では、前期に比べ増収減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車生産の回復を背景に高機能製品の光安定剤、塩化ビニル用の可塑剤、安定剤などが伸長しましたが、期後半から顧客の生産調整の影響を大きく受けました。界面活性剤は、化粧品材料や塗料用の各種添加剤が、輸出を中心に伸長しました。潤滑剤は、自動車生産の拡大及び海外を中心とした新規顧客の開拓により伸長しました。機能性樹脂は、環境対応可能な水系樹脂が、自動車や家電向けで堅調に推移しました。機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類などは、需要が減少したことに加えて、原材料価格が上昇したことにより低調でした。過酸化水素及びその誘導品は、震災の影響で落ち込んだ前期に比べ販売数量は増加しましたが、紙パルプなどの市況低迷の影響が続き低調でした。か性ソーダなどの電解関連製品は、鹿島共同出資3社からの出資引き揚げに伴い販売を縮小しました。基礎化学品全体では、前期に比べ減収となり、営業損失となりました。



当事業の売上高は、535億77百万円(前期比8.7%増)、営業利益は19億31百万円(同2,758%増、同18億63百万円増)となりました。

業務用マーガリンなどの加工油脂やホイップクリームなどの加工食品は、消費者の食に対する低価格志向が強まるなか、顧客ニーズをとらえたバター風味豊かなマーガリンや口どけの良いクリームを中心に販売数量が伸長し、震災の影響を大きく受けた前期に比べ増収増益となりました。

■化学品事業売上高推移



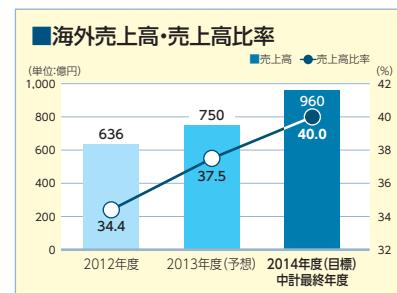
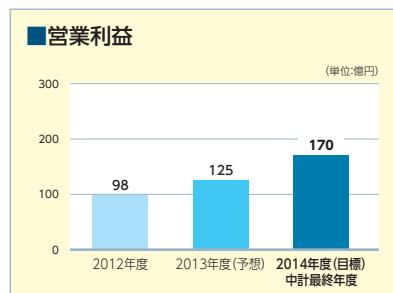
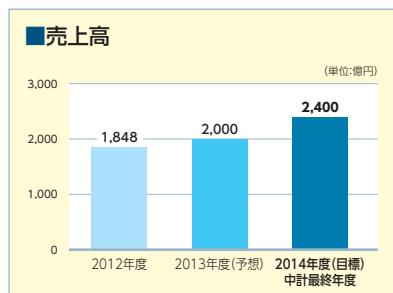
■食品事業売上高推移



5つの基本方針



数値目標



化学品事業拡大への取り組み

●海外事業展開の加速

〔米国〕

樹脂添加剤の製造・販売を目的に、AM STABILIZERS CORP.を設立し、Hammond Group Inc.から塩化ビニル用安定剤事業を買収しました(2012年6月)。

当社グループとHammond社の安定剤事業が持つ技術力・製品・販売ネットワークを融合することにより、米国のみならず世界の新たな市場・分野に参入してまいります。



AM STABILIZERS CORP.

〔ブラジル〕

ADEKAグループ製品(樹脂添加剤、潤滑油添加剤、情報・電子関連製品など)の販売支援及び市場開拓のため、現地法人ADEKA BRASIL LTDA.を設立し、営業を開始しました(2013年4月)。

ブラジルを中心とする南米地域の自動車産業、エレクトロニクス産業などをターゲットとし、樹脂添加剤を主とした製品の販売拡大を図ってまいります。

〔韓国〕

情報・電子化学品事業の成長を加速すべく、韓国のADEKA KOREA CORP.においてR&D(研究開発)センターの拡充を行い、最先端の半導体評価設備を設置するとともに、人員増強も行い、今まで以上に迅速に研究開発できる体制といたしました。

●浦和開発研究所 新研究棟竣工

2012年6月、当社浦和開発研究所の新研究棟が竣工しました。

世界的に展開する樹脂添加剤事業のグローバルテクニカルセンターとして機能を充実させ、新製品の開発を進めてまいります。



浦和開発研究所 新研究棟

●千葉工場 ポリエステル系添加剤プラントの竣工

2012年8月、当社千葉工場のポリエステル系添加剤の新プラントが竣工しました。

同添加剤は、建材用途、自動車向け、高機能が求められる情報家電分野やエネルギー分野などに使用される樹脂向けへの展開を見込んでおります。

食品事業拡大への取り組み

●海外事業展開の加速

【マレーシア】

マーガリン、ショートニングなどの製造・販売を目的に、IOIグループ※との合弁会社ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.を設立し、工場建設に着手しました。今後の成長が見込まれる東南アジアで、食品事業のさらなる展開、拡大を加速してまいります。

※マレーシア最大手の一角であるコングロマリット企業（パームのプランテーション・搾油・精製、不動産等）



IOIグループ表敬訪問の様子

●食品新製品の上市

2013年度RISU BRAND新製品の共通テーマは『Best benefit』。RISU BRANDの新製品がもたらす機能やおいしさ、安心感、納得感等のbenefitを価値として訴求し、健康で豊かな食生活に貢献してまいります。

◆エクストラオリンピア（スライス）

バターのおいしさを追求したこれまでにない上質な風味の折込油脂です。クロワッサンやデニッシュの焼きたてのおいしさを翌日にも保ちます。バターにはない優れた作業性が製品の安定した品質に貢献します。



「エクストラオリンピア」を使用したパンの応用例

◆プラズママイルド

パン生地に練りこむことで「ソフト」で「しっとり」とした食感でありながら歯切れが良く、経日的な食感の変化を抑えることができる機能性油脂です。食事パン、菓子パン等、幅広くさまざまなパンに使用することができます。



「プラズママイルド」を使用したパンの応用例

◆コンプリートホイップ（ミルク）

どこか懐かしくやさしい甘さの濃厚ミルククリームです。濃厚なミルク風味でありながら、軽い食感のパン生地やスポンジにも適したすっきりとした口どけです。



「エターナルホイップ」を使用したパンの応用例

◆エターナルホイップ（カスタード）

濃厚な風味と口どけの良さを併せ持った新しい食感のフィリングクリームです。常温からチルド商品まで幅広く使用することができます。

新規事業の育成

当社グループでは、新規事業分野として「ライフサイエンス」と「環境・エネルギー」に注力しています。そのうち、「ライフサイエンス」の注目製品をご紹介します。

●大腸癌早期発見用造影剤（ナノビーコン）

強い蛍光を発するナノビーコンが癌細胞と結合することで、肉眼で見えにくい微細な状態での発見を可能とし、早期の処置につなげる、世界初の大腸内視鏡検査用造影剤の製品化を進めております。（米国バンダービルト大学などとの共同研究）



ガン細胞の表面とナノビーコンのピーナッツレクチンが結合、中心部に濃縮された色素分子から強い蛍光を発します。

●メバロノラクトン

肌のバリア機能に必須な遊離脂肪酸の生成促進が確認されました。脱毛症の予防・改善などメディカル材料としての展開も進めております。

●プラスマローゲン

血清中のリン脂質（プラスマローゲン）の量と脳の老化には強い相関があることが明らかとなり、「認知症予防改善作用をもつ新たなリン脂質食材の開発」として国家プロジェクトで採択され、北海道大学 原教授らとの共同研究を進めております。

●ベータグルカン

大麦由来の「大麦ベータグルカン」は、サプリメントなどの健康食品分野に、黒酵母由来の「発酵ベータグルカン」は、化粧品分野、ヘアケア、さらにはメディカル分野（創傷修復）等、用途拡大を進めております。

また、「大麦ベータグルカン」は、公益財団法人日本健康・栄養食品協会の「食品の機能評価事業」にて高い評価が得られております。

（参考）【海外でのベータグルカン健康強調表示の許認可状況】

地域	認証機関	許可成分	許可表示	認可年
米国	FDA	大麦とオーツ麦βグルカン	コレステロール低下による心臓疾患のリスク低減	2006
			血糖値の上昇抑制	審査中
欧州	EFSA	大麦繊維	排便促進	2012
		βグルカン	コレステロール低下による心臓疾患のリスク低減	
		大麦とオーツ麦βグルカン	血糖値の上昇抑制	

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2013.3.31現在)	前期 (2012.3.31現在)	前期比増減
(資産の部)			
① 流動資産	116,293	110,009	6,284
固定資産	106,311	100,757	5,553
② 有形固定資産	71,983	68,582	3,400
無形固定資産	3,471	3,237	233
③ 投資その他の資産	30,856	28,937	1,919
資産合計	222,604	210,766	11,837
(負債の部)			
④ 流動負債	55,099	60,820	△5,720
⑤ 固定負債	30,277	21,345	8,931
負債合計	85,376	82,166	3,210
(純資産の部)			
株主資本	128,260	122,826	5,434
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,925	19,925	—
利益剰余金	85,660	80,225	5,434
自己株式	△224	△224	△0
その他の包括利益累計額	4,819	2,422	2,396
その他有価証券評価差額金	1,868	984	883
土地再評価差額金	3,697	3,791	△94
為替換算調整勘定	△746	△2,353	1,607
少数株主持分	4,147	3,351	796
純資産合計	137,227	128,600	8,627
負債・純資産合計	222,604	210,766	11,837

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 137,615百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

- | | | |
|---|---|--|
| <p>① 流動資産の増加
現金及び預金の増加
たな卸資産の増加
が主な要因です。</p> <p>② 有形固定資産の増加
建物及び構築物の増加
が主な要因です。</p> <p>③ 投資その他の資産の増加
投資有価証券の増加
が主な要因です。</p> | <p>④ 流動負債の減少
1年内返済予定の長期借入金の減少
が主な要因です。</p> <p>⑤ 固定負債の増加
長期借入金の増加
が主な要因です。</p> | <p>3,409百万円
3,179百万円</p> <p>2,102百万円</p> <p>1,028百万円</p> <p>5,395百万円</p> <p>8,438百万円</p> |
|---|---|--|

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2012.4.1~ 2013.3.31)	前期 (2011.4.1~ 2012.3.31)	前期比増減
売上高	184,885	170,817	14,067
⑥ 営業利益	9,855	8,342	1,513
⑥ 経常利益	11,324	8,628	2,695
税金等調整前当期純利益	10,788	6,198	4,589
当期純利益	7,616	3,797	3,819

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2012.4.1~2013.3.31)	前期 (2011.4.1~2012.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,445	7,751
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,903	△4,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	173	△964
現金及び現金同等物に係る換算差額	739	△163
現金及び現金同等物の増減額	3,455	2,199
現金及び現金同等物期首残高	25,755	23,555
現金及び現金同等物期末残高	29,210	25,755

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				少数株主 持 分	純資産 合 計	
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金	土地再評価 差 額 金	為替換算 調 整 勘 定			その他の包括利益 累 計 額 合 計
2012年4月1日残高	22,899	19,925	80,225	△224	122,826	984	3,791	△2,353	2,422	3,351	128,600
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△2,276		△2,276						△2,276
当期純利益			7,616		7,616						7,616
土地再評価差額金の取崩			94		94						94
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						883	△94	1,607	2,396	796	3,193
連結会計年度中の変動額合計	—	—	5,434	△0	5,434	883	△94	1,607	2,396	796	8,627
2013年3月31日残高	22,899	19,925	85,660	△224	128,260	1,868	3,697	△746	4,819	4,147	137,227

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

- ⑥ 売上高営業利益率 5.3% (前連結会計年度 4.9%)
売上高経常利益率 6.1% (前連結会計年度 5.1%)

- ⑦ 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳
有形固定資産の取得による支出 △10,146百万円
フリー・キャッシュ・フロー
2,542百万円 (前連結会計年度 3,327百万円)
* 営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動による
キャッシュ・フローを差し引いた金額

個別財務諸表

単 独

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2012.3.31現在)	前 期 (2012.3.31現在)	前期比増減
(資産の部)			
流動資産	81,531	81,766	△234
固定資産	89,767	88,281	1,485
有形固定資産	57,311	56,518	793
無形固定資産	2,437	2,765	△328
① 投資その他の資産	30,018	28,997	1,020
資産合計	171,299	170,048	1,251
(負債の部)			
② 流動負債	33,765	41,069	△7,304
③ 固定負債	23,376	18,034	5,341
負債合計	57,141	59,104	△1,962
(純資産の部)			
株主資本	108,767	106,201	2,565
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,925	19,925	—
利益剰余金	66,109	63,543	2,565
自己株式	△167	△167	△0
評価・換算差額等	5,390	4,742	648
その他有価証券評価差額金	1,693	950	742
土地再評価差額金	3,697	3,791	△94
純資産合計	114,157	110,943	3,213
負債・純資産合計	171,299	170,048	1,251

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 118,423百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	株 主 資 本				評価・換算差額等			純資産 合 計	
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計
2012年4月1日残高	22,899	19,925	63,543	△167	106,201	950	3,791	4,742	110,943
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△2,276		△2,276				△2,276
当期純利益			4,747		4,747				4,747
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金の取崩			94		94				94
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						742	△94	648	648
事業年度中の変動額合計	—	—	2,565	△0	2,565	742	△94	648	3,213
2013年3月31日残高	22,899	19,925	66,109	△167	108,767	1,693	3,697	5,390	114,157

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (2012.4.1~ 2013.3.31)	前 期 (2011.4.1~ 2012.3.31)	前期比増減
④ 売上高	113,341	113,170	170
⑤ 営業利益	6,171	5,068	1,103
⑥ 経常利益	7,413	5,709	1,704
税引前当期純利益	6,656	3,340	3,316
当期純利益	4,747	2,234	2,513

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

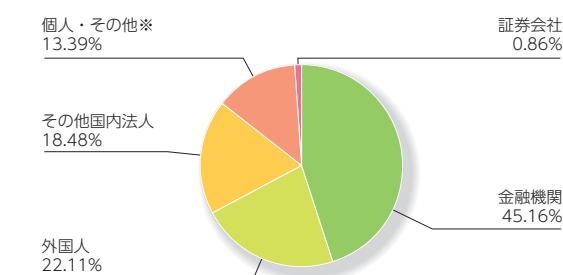
- ① 投資その他の資産の増加
投資有価証券の増加
が主な要因です。 490百万円
- ② 流動負債の減少
1年内返済予定の長期借入金の減少
が主な要因です。 5,000百万円
- ③ 固定負債の増加
長期借入金の増加
が主な要因です。 4,994百万円
- ④ 売上高 0.2%の増収
化学品事業は、5.3%の増収、食品事業は12.0%の増収
売上高輸出比率は、前期17.6%から0.1ポイント減少、
17.5%となりました。
- ⑤ 売上高営業利益率 5.4% (前期4.5%)
- ⑥ 売上高経常利益率 6.5% (前期5.0%)

株式の状況 (2013年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式総数	103,651,442株
当期末株主数	7,092名 (前期末比93名増)

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当:3月31日 中間配当:9月30日
公告方法	電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合、日本経済新聞に掲載します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
(電話照会先)	

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,860	6.63
2	朝日生命保険相互会社	4,769	4.61
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,115	3.98
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,581	3.46
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,206	3.10
6	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
7	ADEKA取引先持株会	2,455	2.37
8	農林中央金庫	2,244	2.17
9	東京海上日動火災保険株式会社	1,801	1.74
10	ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブアカウント アメリカン クライアント	1,788	1.73

(注) 当社は自己株式172,493株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式事務手続きのお問い合わせ先

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

●証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。

●特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

会社の概要 (2013年3月31日現在)

会社の概要

設立	1917年1月27日
資本金	22,899,673,072円
従業員数	3,027名 (連結) 1,523名 (単独)

役員

代表取締役会長	櫻井 邦彦
代表取締役社長	郡 昭夫
取締役 常務執行役員	世良田 博史
取締役 常務執行役員	森尾 和彦
取締役 常務執行役員	飯尾 卓美
取締役 常務執行役員	百瀬 昭彦
取締役 執行役員	富安 治彦
取締役 執行役員	辻本 光
取締役 執行役員	北條 修司
取締役 (社外)	永井 和之
常勤監査役	木内 慎一
常勤監査役	柴田 良平
監査役 (社外)	奥山 章雄
監査役 (社外)	竹村 葉子
監査役 (社外)	佐藤 美樹

執行役員 (取締役兼務者を除く)

上席執行役員	板垣 和雄
執行役員	矢島 明政
執行役員	北森 一孝
執行役員	幸野 俊則
執行役員	荒田 亮三
執行役員	林 義人
執行役員	古川 豊
執行役員	飛田 悦男

連結子会社の状況

名称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
ADEKAケミカルサプライ(株)	104	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
ADEKAクリーンエイド(株)	140	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
ADEKAファインフーズ(株)	50	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
ADEKA総合設備(株)	130	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤等の製造、販売
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
オキシラン化学(株)	600	50.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
ADEKA食品販売(株)	42	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
ADEKA物流(株)	50	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
長江化学股份有限公司 [台湾]	3,000万NTドル	50.00	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
(株)ヨンゴ	18	90.69	製菓・製パン業務用資材の卸売
ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造、販売
ADEKA (ASIA) PTE.LTD. [シンガポール]	80万USドル	100.00	化学製品の販売
ADEKA Europe GmbH [ドイツ]	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	液晶パネル関連薬剤の製造、販売、化学製品の輸入販売
ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造、販売
ADEKAライフクリエイト(株)	65	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器販売
艾迪科 (上海) 貿易有限公司 [中国]	100万USドル	100.00	化学製品の販売
艾迪科精細化工 (上海) 有限公司 [中国]	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
艾迪科精細化工 (常熟) 有限公司 [中国]	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
上原食品工業(株)	70	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造、販売
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.	3億5,000万バート	81.00	化学製品の製造、販売
艾迪科食品 (常熟) 有限公司 [中国]	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
AM STABILIZERS CORP. [米国]	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造、販売

持分法適用関連会社の状況

名称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
日本農業(株)	10,939	24.17	農業等の製造、販売
(株)コープグリーン	80	46.88	石鹸、洗剤等の開発、販売

(注) 当期に鹿島ケミカル(株)の株式を全株譲渡したことに伴い、持分法適用関連会社から除外しております。

ネットワーク (2013年3月31日現在)

●事業所

本社	東京都荒川区
大阪支社	大阪市中央区
名古屋支店	名古屋市中村区
福岡支店	福岡市博多区
札幌営業所	札幌市中央区
仙台営業所	仙台市青葉区

●生産工場

鹿島工場	神栖市東和田
千葉工場	袖ヶ浦市北袖
三重工場	三重県員弁郡
富士工場	富士市富士岡
明石工場	兵庫県加古郡
相馬工場	相馬市光陽

●研究所

尾久中央開発研究所	東京都荒川区
浦和開発研究所	さいたま市南区
久喜開発研究所	埼玉県久喜市
関西開発室	大阪市中央区

●海外拠点

ADEKA Europe GmbH	ADEKA KOREA CORP.
ADEKA PALMAROLE SAS	ADEKA CORP. TOKYO HEAD OFFICE
ADEKA Al Ghurair Additives LLC	AMFINE CHEMICAL CORP. ADEKA USA CORP. AM STABILIZERS CORP.
ADEKA INDIA PVT.LTD.	長江化学股份有限公司 台湾艾迪科精密化学股份有限公司
ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND) CO.,LTD.	ADEKA BRASIL LTDA.
ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.	艾迪科 (上海) 貿易有限公司 艾迪科精細化工 (上海) 有限公司 艾迪科精細化工 (常熟) 有限公司 艾迪科食品 (常熟) 有限公司 長連旭 (上海) 貿易有限公司 固都化工 (昆山) 有限公司
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	
ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	